

ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 10.31-11.01

BRP
BIRTH RACING PROJECT

Race Report



Super Taikyu 2020 Series Round-3 / OKAYAMA

(2020.10.31-11.01)

www.brp.gr.com

ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 10.31-11.01

BRP
BIRTH RACING PROJECT

BRP はスーパー耐久シリーズ2020第3戦岡山、昨年TCRで優勝を果たした縁起の良いサーキットでの3時間の激闘を戦い抜き、表彰台目の悔しいST-Zクラス4位でレースを終えました。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2020年10月31日～11月1日に開催された「スーパー耐久シリーズ第3戦 岡山国際サーキット」において、国内初導入のPORSCHE 718 Cayman GT4 MRを投入し、予選は中盤からのスタートとなりましたが、決勝ではコンスタントに順位を上げていきますが、表彰台目の悔しいST-Zクラス4位の結果で終わりました。

【10月28日(水)フリー】

レースウィークは水曜日からスタートしました。今季は諸事情により決勝レースの登板を見送っているDドライバーの奥村浩一選手の走行により、順調にテストメニューをこなし走行を終えました。



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 10.31-11.01

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【10月29日(木)フリー】

全てのドライバーが揃い、本格的なレースウィークがスタートしました。福田選手・塩津選手を中心としたLAPタイムの向上の為に走行メニューを組み、予選・決勝レースに備えて勢力的にセットアップチェックと練習走行を行いました。

【10月30日(金)フリー】

金曜日のフリー走行を車両・ドライバー共に順調にメニューを消化して走行を進めます。国内初導入のPORSCHE 718 Cayman GT4 MRのパフォーマンスアップの為にセットアップを積極的に進め、ブレーキパットの開発も並行して進めていきました。国内初導入の車両という事もあり、今年は車両の熟成を高める期間として設定しており、とにかく周回を重ねて経験値と実績の蓄積を図ることに専念しました。



【10月31日(土)公式予選】

公式予選がいよいよ始まりました。Aドライバーの福田幸平選手が、1' 38.165のタイムでクラス6位で予選を終えました。続くBドライバーの松本武士選手は福田幸平選手を凌ぐ1' 36.246を記録しますが、クラス6位となり、A・Bドライバーの合算タイムで明日の決勝レースは6番手からのスタートとなりました。続くCドライバー塩津祐介選手・Dドライバー奥村浩一選手も確実に予選基準タイムをクリアして予選を終えました。

【第3戦岡山国際サーキットST-Zクラス予選結果】

Aドライバー：福田 幸平	コース：DRY	タイヤ：スリック	1'38.165	クラス6位
Bドライバー：松本 武士	コース：DRY	タイヤ：スリック	1'36.246	クラス6位
Cドライバー：塩津 佑介	コース：DRY	タイヤ：スリック	1'37.734	
Dドライバー：奥村 浩一	コース：DRY	タイヤ：スリック	1'39.592	

1位 No.47	D' station Vantage GT4	3'12.249
2位 No.2	ケーズフロンティアSYNTIUM KTM	3'12.634
3位 No.3	ENDLESS AMG GT4	3'13.251
4位 No.500	5ZIGEN AMG GT4	3'13.450
5位 No.20	SS/YZ BMW	3'14.365
6位 No.19	BRP★SUNRISE-Blvd 718 GT4 MR	3'14.411
7位 No.23	TKRI松永建設AMG GT4	3'15.131
8位 No.21	STP with Studie BMW M4 GT4	3'17.209



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 10.31-11.01

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【11月1日(日)決勝】

スタートは福田幸平選手が務めました。スタート直後のクラッシュの混乱も見事に回避しながらしっかりと走り抜き、塩津祐介選手にバトンを繋ぎます。塩津選手も安定感のある走りで首位を猛追しますが、ペースを上げ切る事が出来ずに、若干不完全燃焼のまま、チェッカードライバーのエース松本武士選手に交代して、3時間のショートレースの最後の追い上げ開始しました。ベストラップを更新して猛追しますが、表彰台まで一步届かず悔しいST-Zクラス4位でレースを終えました。

【第3戦岡山国際サーキットST-Zクラス決勝レース結果】

1位 No.500	5ZIGEN AMG GT4	103	3:00' 43.631
2位 No.47	D' station Vantage GT4	103	3:00' 44.087
3位 No.3	ENDLESS AMG GT4	103	3:00' 56.429
4位 No.19	BRP★SUNRISE-Blvd 718 GT4 MR	102	3:01' 38.002
5位 No.23	TKRI松永建設AMG GT4	102	3:02' 17.309
6位 No.2	ケースフロンティアSYNTIUM KTM	102	3:02' 19.955
7位 No.21	STP With Studie BMW M4 GT4	101	3:01' 51.334
8位 No.20	SS/YZ BMW	82	3:02' 20.958



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 10.31-11.01

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【コメント】

昨年のAMG GT4からPORSCHE 718 Cayman GT4 MRIにスイッチして、激戦のST-Zクラスに挑んでいます。今までチームとしてPORSCHEの導入実績が無い中で、セットアップも戦略も手探りの状態で3戦目を迎えました。前戦の菅生では雨の難しいコンディションの中ST-Zクラス2位の表彰台を獲得し、その流れで岡山入りしましたが、車・ドライバー・環境それぞれ色々な物が足りずに表彰台を逃してしまう結果となりました。今まで参戦してきたスーパー耐久のクラスの中で過去最強の激戦区といっても過言では無い今年のST-Zクラスで、いつも以上にもがき苦しんでいる状況ではありますが、苦しんだ分・もがいた分必ずチームは強くそして速くなると信じて、今年のスーパードライも早くも折り返しになりましたが、次戦もてぎに挑みたいと思います。シリーズチャンピオンを目指し全集中・猪突猛進でチーム一丸となって戦って参ります。この場を借りましてご支援・ご声援頂きました、すべての皆様に感謝とお詫び申し上げます。また引き続きのご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。

株式会社バースモータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト
代表取締役 奥村 浩一



ST-Z
#19

Birth Racing Project

Press release - 2020. 10.31-11.01



■BRPパートナー企業



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先： office@brp.gr.com



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com